

2015年4月21日

千葉市長 熊谷俊人様

「千葉市内東京電力火力発電所内への、指定廃棄物処分場建設」 についての申し入れ書

さる4月17日午後、インターネットやテレビなどを通じて「指定廃棄物保管施設に関して、市内東電敷地内が候補地に選定された」という突然の報道があり、まったく経緯を知らされていなかった住民の間には「なぜ、千葉市に？」という疑問や不安・不満の声がありました。

翌日の新聞には「寝耳に水」との言葉が躍っていましたが、まさに市民の混乱の状況を表しています。

この報道に対して千葉市長は「環境省からまだ話を聞いていないので、現時点で話せることはない。まずは話を聞かせていただく」とのコメントを発表されています。

指定廃棄物の候補地選定においては、地元の意向を十分に聴取した上で検討されるべきものであり、それが無視された形の今回の選定に対しては憤りすら覚えます。

放射性物質がある限り、私たちが直面しなければならない環境や健康への被害に対する配慮がまずは優先されるべきです。

報道によれば24日にも環境省からの説明が千葉市にあるとされています。それに先立ち、私たち市民ネットワークちばでは、以下の点に関して強く申し入れるものです。

1. 環境省からの情報についてはすべて市民に公開していくこと
2. 東電敷地内が選定されたプロセスや選定基準などを早急に明らかにするよう、国に求め、市民に説明すること
3. 周辺住民だけでなく、広く市民全体に向けた説明会をきめ細かに開催すること
4. 市民が問題点をより明確に把握できるような機会を提供（フォーラムの開催など）すること、また国にも求めること
5. 住民の合意が得られないままの拙速な判断は絶対におこなわないこと

以上

市民ネットワークちば
共同代表 岩崎明子 山崎邦子

千葉市中央区中央4-10-11
Tel& fax 043-201-2551
chiba@chibanet.jp
<http://www.chibanet.jp>